

村永外志雄 ダイソー(株)
 吉谷 正治 (株)中山製鋼所
 安藤 彰修 大阪大学工学部
 上田 洋 大阪大学工学部
 片野 元 大阪大学工学部
 木下 哲也 大阪大学工学部
 木本 淳志 大阪大学工学部
 大森 健次 大阪大学工学部
 倉永 知明 大阪大学工学部
 忽那 孝弘 大阪大学工学部
 小林 郁夫 東京工業大学

法貴 光典 大阪大学工学部



浅野 三郎 三菱重工(株)高砂製作所
 木村 勝一 新日本製鐵(株)新素材事業本部
 今野 敬治 新日本製鐵(株)大分製鉄所
 田ノ上修二 住友金属工業(株)総合技術研究所

堂原 忠志 住友金属工業(株)鋼管製造所
 中村 和男 新日本製鐵(株)中央研究本部
 成田 進 黒崎炉工業(株)
 前田 一徳 鋼管鉋業(株)
 松田 祥三 スカイアルミニウム(株)
 松原 徹 (株)ダイテック
 上田 精心 九州大学工学部
死亡退会

御冥福をお祈り申し上げます

曾我 正満

//////////////////////////////////// 原稿募集 ////////////////////////////////////// 「鉄と鋼」特集号 //////////////////////////////////////

製鉄プロセスにおける現象とモデル化

原稿締切日 平成 3 年 11 月 8 日 (金) 締切日厳守

平成 4 年 7 月号 (第 78 年第 7 号) に上記特集号を企画しております。ここ数年、国内の好景気に支えられ、我が国の粗鋼生産量も 1 億 t を超える高生産が続いております。しかし、一方では、劣質資源の活用、省エネルギーも含めた CO₂ 削減技術等、将来型プロセスの開発に期待がよせられています。

最近の製鉄プロセスにおける研究状況を概観しますと、原料分野においては、焼結機操業の歩留り向上、低品質原料の使用可能な焼結法や新塊成化法の開発、コークスの分野では、乾留反応の制御法、一般炭の使用技術、高炉においては、新装入物分布制御法、微粉炭多量吹込み、AI や数学的モデルによる操業管理などに長足の進歩がみられます。また、基礎的研究としては、シンターケーキ構造の研究、高炉下部の移動現象論的研究、新プロセスに関連して、溶融還元法や酸素高炉法、成型炭製造技術など大型のプロセス開発の研究も実施されています。

本特集号においては原料、コークス、高炉製鉄法、ならびに、開発が進められている将来の製鉄技術に関連して基礎科学的、および、応用技術的研究を幅広く募集いたします。論文等多数の御投稿をお待ちしております。

1. 原稿締切日 平成 3 年 11 月 8 日 (金)
2. 発行 「鉄と鋼」 Vol. 78 No. 7 (平成 4 年 7 月号)
3. 原稿枚数 論文刷り上がり 8 ページ以内
 (表、図、写真を含めて本会原稿用紙 40 枚以内)
 (注)・原稿は本会投稿規程に基づいて執筆して下さい。
 ・投稿された論文は和文会誌分科会において審査されます。
4. 問合せ・原稿送付先
 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
 (社)日本鉄鋼協会 編集・業務室 和文誌特集号係 (担当: 坂井) 電話 03-3279-6021(代)
 (注) 投稿時、原稿表紙に「製鉄特集号」と朱書して下さい。